

メガジュル/マイクロジュル

EN 1515151-2, Type 2

リードクライマーやトップロープクライマーを確保するためのブレーキデバイスです。

トップロープを使ってクライマーのローダウンやアップザイレン(懸垂下降)をする事も出来ます。

取り扱いの説明、安全性、寿命、保管、ケア

この取り扱い説明書は、重要な情報が載っております。ご使用前に必ず読んで理解しておいてください。

登山、クライミング、高所や洞窟での行動は、隠れた危険やリスクが伴います。事故の危険は避けられません。より安全に行動していただくために、関連の文献等を読み、広い知識を身に付けていただくことをお薦めします。

以下の内容は、道具を正しく適切に使うための重要な説明です。登山、クライミング、高所や洞窟での作業では特有の行動やリスクが存在することを認識することが大切です。全ての行動が自己責任であることを決して忘れないでください。

道具の使用は、経験者やふさわしいガイドンス、講習を受けた人のみおこなってください。

ご使用前に、デバイスの機能を熟知すると共に、安全な操作に慣れて下さい。

デバイスが乱用され、不適切に使用された場合、製造元は責任を負えません。全てのリスクや責任は、常に使用者にあることを決して忘れないでください。

本製品の特徴

1. 製品構成：

- A. サスペンションアイ（デバイスを吊るす中心部分）
- B. アンロックアイ（ロック解除用のカラビナ通し孔）
- C. ロープスロット（ロープを通すの細長い孔、2カ所）
- D. 親指ブラケット（親指を通す位置）
- E. ワイヤーブラケット

2. 使用可能なロープのタイプや直径のリスト（図2）

3. ロープの通し方：

ロープスロットへ、ロープを押し込んでカラビナを取付ける。親指ブラケットポイントがビレーヤーから離れていることを確認してください。

デバイスは、オートマチックゲートあるいはスクリュゲートのロック付のカラビナをクライミングハーネスのビレーループに取り付けて下さい。

4. エーデルリッド製品の HMS Strike FG や、HMS Strike Slider FG カラビナを使用することをお勧め

します。

他タイプのカラビナを選ぶ際は、HMS オートマチックゲートカラビナ（梨の形状。可能なら、戻り防止機能の付いたカラビナを使用する）をお選びください。使用時に、確保しているデバイスの向きを確認してください。カラビナの幅が広い方の端に付いていれば、正しい向きです。確保するデバイスの向きを間違えるとブレーキ機能を弱めてしまいます。

5. リードクライマーへの確保／トップロープクライマーへの確保

リードクライマーを確保する時、ブレーキハンド（ブレーキロープを握る手＝利き手の反対）はデバイスを親指ブラケット（親指を通す位置）に通し他の指でロープを握り（図 5 a）親指ブラケットを持ち上げリードクライマーへロープを送ります。

トップロープクライマーを確保する時はリードロープをデバイスの方へ押し下げ、一方の手でロープを引きます。（図 5 b）

6. ブレーキロープは常に、ブレーキハンドで確実に掴んで下さい。確保が身体の前で行われる場合、ロープは片手だけで掴まないでください。もしロープがたるんだ場合ブレーキハンドは確保デバイスの下側ロープを掴んでください。そして、ブレーキハンドの親指は、デバイスの方に向けておきます。これらのルール（図 6 a, 6 b, 6 c, 6 d）に従わないと、致命的な事故が起こる可能性が非常に高くなります。

7. 体を使ってローダウンするクライマーを確保する

ローダウンするクライマーを確保するには、デバイスはロックを解除して行ってください（親指を使って行う）。デバイスを親指ブラケットで上に引き上げるとロープを緩めることができます（7 a）。また、デバイス（B）の部分を親指で傾けることにより、デバイスのロックを解除することができます（図 7 b）。どちらの場合においても、ブレーキのスピードはブレーキハンドでコントロールされます。

8. トップロープクライマーを固定した地点から確保する（例：ステーションビレー）

一人か二人のトップロープクライマーは、個々にビレーすることができます。（ロープを混同させないで下さい。）デバイスは、固定したポイントにカラビナ（ロック機能付）でサスペンションアイ（A）に取付けて下さい（図 8 a）。ロープは、ロープスロットを通して送り込み、そして2つ目のカラビナ（ロック機能付）を取付けます。（ブレーキカラビナ）

注意：ブレーキカラビナは、デバイスのワイヤーブラケットと逆側に取付け、直接ロープに通してください。（図 8 b/ 8 c）

9. 図 9 a-9 d は、トップロープクライマーへの確保の誤った使用法です。

10. ローダウンするクライマーを確保するには、ロックされていない中心（eye）に付いている追加のカラビナを使って、デバイスのロックを解除してください。下降のスピードはブレーキの手でコントロールしてください。二人のトップロープクライマーを確保する場合、下降していないトップロー

プクライマーのロープには「こぶ」を作り安全を確保してください。

1 1. 懸垂下降

懸垂下降の際、確保デバイスを方向転換することをお勧めします。そうすると、親指ブラケットが自身の体の方に向きます。(図 11a) さらに、プルージックスリングでバックアップをとるとより安全が確保されます。

また、ロープは項目 5. (リードクライマーを確保する) の下に書いてあるように (図 1 1 b/ 1 1 c)、デバイスに挿入することができます。懸垂下降時に、デバイスのロック解除のカラビナ通し孔にカラビナをセットして、ロックを解除し下降します。使用するカラビナは、EDELRID のピュアカラビナが最適です。もしカラビナのコンビネーションが好ましくない場合は、デバイスとロープがスムーズに流れません。安全な状況で使って、コンビネーションの適合性をチェックしてから使用することをお勧めいたします。

1 2. 注意： 懸垂下降中は、常にブレーキハンドでブレーキロープを掴んで下さい。(図 1 2 a)

注意： 懸垂下降時には安全の為ロープの末端にこぶを作ること。ロープの途中に、こぶがあるとそこで止まってしまい下降できません。(図 1 2 b)

1 3. 確保するのに最適な取扱いをするためには、ロープはきちんと整理し、からまないようにしておいて下さい。

1 4. マルチピッチのルートで、リードクライマーを確保する場合、確保者のデバイスとクライマーの間に中間確保ポイントが少なくとも一つあることを確認してください。

この他の情報は、ビデオやホームページを参照ください。

<http://www.edelrid.de/sports/download/gals/video.html> 2013 年 7 月使用法ビデオが UP されました。

機能と安全チェック

安全な環境 (地上やジャンプできる高さの場所) で、デバイス、確保用カラビナやクライミングロープのコンビネーションの正しい機能をチェックすることは、使用者の責任です。操作の特性は、上記 (例：ブレーキ行動) で述べられた適合性によって異なります。これは、カラビナの形状やロープの直径や表面が異なるからです。

確保前や、懸垂下降前に、正しい機能やデバイスのブレーキアクションと同様に、デバイスの正しい取付けをチェックして下さい。なめらかなロープ、湿気を含んだロープ、着氷したロープはデバイスのブレーキに悪影響をもたらします。

注意： ブレーキロープは常に正しい状態でブレーキハンドで握ってってください。

使用するロープのタイプ

リードクライミングには、EN892 によるダイナミックロープのみを使ってください。

直径の範囲は図2を参照して下さい。実際のロープ直径は、±0.2mm程度、製造元によって指示される直径が異なります。スタティックロープの使用は、トップロープでの確保や、ローリング/懸垂下降のみ行ってください。リードクライマーの確保には向いておりません。ロープがたるまないようにして下さい。

アンカーポイントの選択、安全性、寿命、保管、ケア、証明

安全警告

この商品を使い、お薦めしている以外の製品を付けてクライミングする時、安全面が互いに阻害される場合があります。

使用の前後は、破損がないか、デバイスをチェックして下さい。(例えば、ひびやさび)

フィット性と正しい機能を確認して下さい。僅かでも使用上の疑いがある場合は、すぐにデバイスの使用を止めて下さい。

警告！

ダメージを与える環境から遠ざけて下さい。これは、高温、火花の影響等と同様に、研磨剤や危険な物質(例：酸、アルカリ、はんだ液、オイル、洗剤液)との接触を含みます。

気候の必要条件

永続的使用温度(乾燥した状況にて)約30℃~60℃。

寿命と交換

商品の寿命は、使用方法や頻度、その他外的要因によって変化します。

最大寿命：(“保管”のセクションを参照) 未使用であっても劣化は進行します。

時折使用： 磨滅なくきれいなロープを使用し、正しい使用。

最適な保管状態：10年

頻繁又はかなりの使用：

とてもハードな使用をして汚れたロープの場合、2年未満。

以下の事象があった場合は直ちにデバイスを破棄して下さい。

- 高所より地面に落下し衝撃を受けた場合
- 目立った溝や変形が発生した場合
- デバイスが破損したり故障した場合

保管とケア

保管： 涼しく乾燥した暗所で保管すること。化学製品との接触を避けて下さい。

(注意：電池の酸等！)

クリーニング： ぬるま湯で汚れを落としてきれいにする。(汚れが酷い場合は、中性洗剤を使用して下さい。)

注意！ 上記をお守りいただけない場合、使用時に故障等の原因となり危険を招くこととなります。

製品情報

製造者：EDELRID

製品名称：ブレーキングデバイス EN 15151-2

取扱説明書をよく読み、警告や使用ロープ対応径を正しく遵守してください。

ロープを正しく挿入するための絵、製造年とロット番号

当社の製品は、細心の注意を払って製造されています。

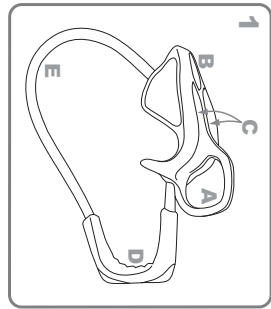
我々は技術的な修正を行う権利を保持します。

テスト機関：TUV SUD Product GmbH, Munich, Germany

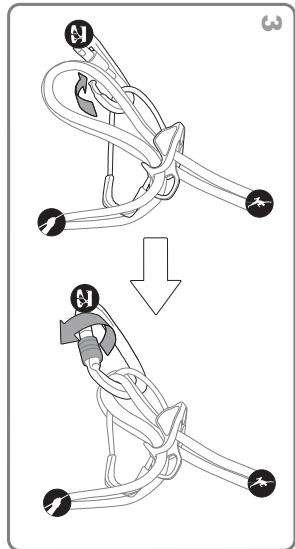
輸入発売元：(株)マジックマウンテン

〒352-0011 埼玉県新座市野火止 2-8-5

TEL 048-480-0088



2			Ø
		1	≤ 8,9
Micro Jul		1/2	7,8 - 8,0
		⊙	6,9 - 7,8
		1	8,9 - 10,5
Mega Jul		1/2	7,8 - 9,0
		⊙	> 7,8



MEGA JUL / MICRO JUL

EDELRID
88316 Isny im Allgäu
Germany
Tel. +49 (0) 7562 981-0
Fax +49 (0) 7562 981-100
mail@edelrid.de
www.edelrid.de

Prüfstelle, Testhouse, Vérification:
TUV SÜD Product Service GmbH,
80339 München, Germany

Bremsgerät nach EN 15151-2, Typ 2
Braking device according to EN 15151-2, type 2

E 30036-000 0110

